

8 | ひとつの歴史の教訓の「囚われ人」となる勿れ  
五百旗頭真 熊本県立大学理事長 ひょうご震災記念21世紀研究機構理事長

10 | デジタル時代の外交と安全保障  
デービッド・ハウエル卿 元日英21世紀委員会英国側議長

■特集

# 歴史の戦争 試される外交

16 | 総論 歴史から学ぶ外交の  
リアリズムとは何か

22 | 第1次世界大戦の教訓  
— 現状変更志向国家  
— 独と中国の類似性

ジレミー・ブラック エクスター大学教授

26 | 「日清戦争」との対話  
— 危機の中にある時代感覚と  
— 歴史認識

劉傑 早稲田大学教授

32 | 中国「歴史認識」の深層  
— 歴史的記憶「恥辱の一世紀」

汪錚 シートンホール大学准教授

36 | 第2次大戦の  
消え去ることのない歴史

イアン・ブルマ バード大学教授

40 | 昭和天皇の歴史認識

古川隆久 日本大学教授

46 | ヒロシマ／ナガサキに  
どう向き合うか

奥田博子 関東学院大学准教授

■資料

52 | 天皇陛下のお言葉

中曽根康弘 元首相

53 | 「政治家と歴史法廷」

会田弘継 共同通信社特別編集委員

55 | 提言 ウクライナ問題と日本外交

126 | 世界平和主義の旗を  
伊藤憲一 公益財団法人日本国際フォーラム理事長

152 | 古典読みかえし  
『歴史の終わり』 フランシス・フクヤマ著

会田弘継 共同通信社特別編集委員

■特別企画

## 中国膨張 試される安全保障

58 | 日中「不信連鎖」の中の安保戦略リスク  
鈴木美勝 時事通信解説委員

62 | 安全保障の法整備  
— すべては危機を直視することから始まる

68 | 勝股秀通 読売新聞調査研究本部主任研究員

70 | 資料 集团的自衛権 閣議決定

74 | 南シナ海波高し  
— 法による対中包囲を

金田秀昭 岡崎研究所理事

78 | 南シナ海での中国の強硬姿勢と  
ベトナムの対応  
グエン・フン・ソン ベトナム外交アカデミー・東南アジア研究所副所長

84 | オバマが描くアジア太平洋の秩序  
水本達也 時事通信ワシントン特派員

92 | 「米国だけに頼る時代は終わった」  
フランソワ・ゴドマン パリ政治学院教授

96 | 本命「クリントン」  
危険に満ちた長すぎる選挙戦  
久保文明 東京大学教授

102 | ウクライナ国民の  
分裂意識深める歴史問題  
石川一洋 NHK解説主幹

108 | インド人民党の大勝と  
モディ政権の行方  
堀本武功 京都大学大学院特任教授

114 | TPP妥結のカギは  
一層の農産物自由化  
浦田秀次郎 早稲田大学教授

■連載

55 | Cartoon says it all  
マンガをみれば世界がわかる  
西川恵 毎日新聞客員編集委員

56 | アメリカ政治アネクト  
小谷部一郎 在米ジャーナリスト

118 | 米中関係のルーツをさぐる  
「マダムジャン・カイシエック」  
と呼ばれた女―宋美齡  
譚璐美 ノンフィクション作家

122 | 外務省研究「プロの復権」  
「アジア解放の夢」を見つけた  
伝説の外交官  
— 裏方たちの本領(中)

134 | 音楽と外交  
秋吉敏子ジャズ・オーケストラ・  
ファイヤリング・クルー・タバキン  
「ヒロシマ」そして終焉から」  
小栗勘太郎 音楽愛好家

136 | ニュース裏読み深読み  
NYタイムズ社説が描く  
安倍政権像  
河内孝 ジャーナリスト  
ロシア排除と「G8」を選んだG7  
伊奈久喜 ジャーナリスト

114 | 追悼  
粕谷一希さんを悼む  
藤井宏昭 元駐英大使 森アーツセンター理事長

146 | 小松二郎前内閣法制局長官を想う  
杉山晋輔 外務審議官

86 | 一点視界  
「宗派対立」では読み解けないイラクの混乱  
青山弘之 東京外国語大学教授

140 | 映画と戦争  
夢のような戦争  
藤原帰一 東京大学教授

146 | 苦言賞賛  
力への信譽が強すぎないか  
倉重篤郎 毎日新聞専門編集委員

148 | 外交の「要諦」  
小倉和夫 青山学院大学特別招聘教授

156 | 書評  
Japanese  
各国研究者が新視点で  
「普通の国」を探る  
村田晃嗣 同志社大学学長

162 | 没後50年「マッカーサー」  
再評価が始まった  
高濱賛 在米ジャーナリスト  
Chinese  
原点は下放の地延安  
習近平の強権統治分析  
坂井臣之助 ジャーナリスト 翻訳家

162 | グラズルーツ発 外交の架け橋  
料亭「菊乃井」3代目主人 村田吉弘